

# 主な出張ワークショップ年表

7.9.11月	五月山動物園 / 『ウォンバット骨格標本づくりの一般公開』 / 参加者 116 名
8月	300 DOORS 大阪市中央公会堂 / 『ふわふわモールのハチづくり』 / 参加者 30 名 恐竜特集 近鉄百貨店 / 『はりはり恐竜はり絵』 / 参加者 39 名
8.10.12月	五月山動物園 / 『ウォンバット足型レプリカづくり』 / 参加者 91 名
4.5.6月	五月山動物園 / 『どうぶつえん なぎごえカルタ』 / 参加者 363 名
7.8.9月	五月山動物園 / 『セミはねもようストラップ』 / 参加者 81 名
10.11.12月	五月山動物園 / 『ウォンバットカレンダー』 / 参加者 241 名
1.2.3月	五月山動物園 / 『ワラビーのポケット』 / 参加者 392 名
2月	城東区民ホール「ホール de フェスタ」 / 『はりはり恐竜はり絵』 / 参加者 29 名
4.5.6月	五月山動物園 / 『はじめましてポニーくん』 / 参加者 326 名
7月	海遊館 / 『ホネホネくじらモビール』 / 参加者 143 名
7.8.9月	野里小学校 / 『はりはり恐竜はり絵』 / 参加者 58 名
7.8.9月	五月山動物園 / 『どうぶつえんゆらゆらカード』 / 参加者 272 名
8月	キッズプラザ大阪 / 『トリのツバサの骨格標本』 / 参加者約 15 名
10.11.12月	五月山動物園 / 『くらべっこ! ドングリ』 / 参加者 270 名
11月	大阪市立大学附属病院 / 『はりはり恐竜はり絵』 / 参加者 3 名
1.2.3月	五月山動物園 / 『ふわふわアレルバカ』 / 参加者 422 名
3月	天王寺動物園 レクチャールーム / 『もりのつきのわぐま』 / 参加者 268 名
4.5.6月	五月山動物園 / 『ミニ! ヒツジづくり』 / 参加者 418 名
7月	岸和田市中央公民館 / 『手羽先の骨格標本づくり』 / 参加者約 20 名
7.8.9月	五月山動物園 / 『びよんびよんうさぎ』 / 参加者 245 名
8月	野里小学校 / 『ぐるぐる消しゴムアンモナイト』 / 参加者 60 名 阪急阪神ゆめまちフェスティバル / 『ぐるぐる消しゴムアンモナイト』 / 『砂・つぶ・すな絵』 / 参加者 216 名
10.11月	ロハスフェスタ 2015 / 『化石スタンプを用いたオリジナルエコバック』 / 参加者 193 名
10.11.12月	五月山動物園 / 『ウォンバットすてろく』 / 参加者 199 名
11月	チャイムの鳴る森 谷林業株式会社 / 『まつぼっくりのツリーづくり』 / 参加者 483 名
12月	大阪市立福島図書館 福島えほんの会 / 『はりはり恐竜はり絵』 / 参加者 49 名
1.2.3月	五月山動物園 / 『イノシシ絵まきもの』 / 参加者 270 名
2月	大阪市立大和田幼稚園 / 『はりはり恐竜はり絵』 / 参加者約 70 名
4月	伊丹市昆虫館 企画展「だっぴ展」 / 『びっくり変態! むしムシ親子 in いたこん』 / 参加者約 60 名
4.5.6月	五月山動物園 / 『びよんびよんうさぎ』 / 参加者 426 名
5月	小学生のための理科の王国 2016 / 『ミュージアム スタンプラリー』 / 参加者約 50 名
6月	熊取図書館 / 『おしえて! カセ! 化石クリーニング』 / 参加者約 40 名
7.8.9月	五月山動物園 / 『エミューのたまご』 / 参加者 331 名
8月	阪急阪神ゆめまちフェスティバル / 『ぐるぐる消しゴムアンモナイト』 / 『砂・つぶ・すな絵』 / 参加者 449 名
10月	泉南市埋蔵文化財センター / 『おしえて! カセ! アンモナイトと恐竜のこと』 / 参加者 53 名
10.11.12月	野里小学校 / 『セミ・はねもようストラップ』 / 参加者約 60 名
10月	ロハスフェスタ 2016 / 『ダンゴウオぬりえ缶バッチづくり』 / 参加者 308 名
10.11.12月	五月山動物園 / 『巣穴づくりウォンバットパネル』 / 参加者 198 名
12月	下新庄小学校 / 『はりはり恐竜はり絵』 / 参加者 50 名 子育て子育て応援事業『発達障がい児くらし市』平野区役所 / 『べたべた! ハンコ エコバック』 / 参加者約 40 名

17	1月	きしわだ自然資料館 / 『ニワトリのホネカード』 / 参加者約 15 名
	1.2.3月	五月山動物園 / 『ふわふわアレルバカ』 / 参加者 379 名
	2月	きしわだ自然資料館 / 『ばくばくホネおめん』 / 参加者約 40 名
	3月	野里小学校 / 『砂・つぶ・すな絵』 / 参加者約 60 名
	3月	ナレッジキャピタルワークショップ グランフロント / 『ぐるぐる消しゴムアンモナイト』 / 参加者 192 名
	4.5.6月	五月山動物園 / 『ワラビーのポケットとびだすカード』 / 334 名
	6月	熊取図書館 / 『はりはり恐竜はり絵』 / 参加者約 48 名
	7月	ナレッジキャピタルワークショップ グランフロント / 『砂・つぶ・すな絵』 / 参加者約 190 名
	7.8.9月	五月山動物園 / 『おしえて! カセ! 化石発掘体験』 / 参加者約 30 名
	8月	泉南市埋蔵文化財センター / 『おしえて! カセ! 化石発掘体験』 / 参加者約 30 名
	9月	三洋化成工業株式会社 第17回森づくり活動 / 『目指せ! 鹿の達人!』 / 参加者約 60 名
	10.11.12月	五月山動物園 / 『ウォンバットすてろく』 / 参加者 126 名
	12月	つるはし市場大感謝祭 / 『おさかなカードつりゲーム』 / 参加者約 60 名
	1.2.3月	五月山動物園 / 『落ち葉のしおり』 / 参加者 301 名
	3月	ナレッジキャピタルワークショップ グランフロント / 『びっくり! むしムシ親子』 / 参加者 192 名
	4月	きしわだ自然資料館 / 『ダンゴウオぬりえ缶バッチ』 / 参加者約 20 名
	4.5.6月	五月山動物園 / 『どうぶつキーホルダーをつくろう』 / 参加者 314 名
	6月	熊取図書館 / 『びっくり! むしムシ親子』 / 参加者 48 名
	7月	サイエンスフェスティバル 堺市西区役所 / 『クジラ・スナメリ・大阪の海』 / 参加者 237 名
	7.8.9月	五月山動物園 / 『セミ・はねもようストラップ』 / 参加者 192 名
	9月	五月山動物園 / 『ウォンバット缶バッチをつくろう』 / 参加者 121 名
	9月	カワチ画材まつり / 『はりはり恐竜はり絵』 / まつり全体参加者約 4500 名
	9月	きしわだ自然資料館 / 『はりはり恐竜はり絵』 / 参加者約 33 名
	10.11.12月	五月山動物園 / 『ワラビーのエコバックをつくろう』 / 参加者 178 名
	12月	野里小学校 / 『はりはり恐竜はり絵』 / 参加者約 60 名
	12月	つるはし市場大感謝祭 / 『おさかなカードつりゲーム』 / 参加者約 60 名
	1.2.3月	五月山動物園 / 『ウサギのランプづくり』 / 参加者 196 名
	3月	日本生態学会 子ども生態学講座 / 『大阪湾のいきもの・クジラモビール』 / 参加者約 15 名
	3月	京都山キッズ交流会 京都モデルフォレスト協会 / 『森の動物どっちがどっち?』 / 参加者 195 名
	4月	きしわだ自然資料館 / 『ハンコでつくろ! 東北の生きもの手ぬぐい』 / 参加者 33 名
	4.5.6月	五月山動物園 / 『どうぶつキーホルダーをつくろう』 / 参加者 328 名
	7月	三木町文化交流プラザ / 『ホネホネたんけんたい』 / 参加者 55 名
	7.8.9月	五月山動物園 / 『さぬき市志度図書館 / 『ホネホネたんけんたい』 / 参加者 40 名
	8月	五月山動物園 / 『ウォンバットのエコバック』 / 参加者 166 名
	8月	ナレッジキャピタルワークショップ グランフロント / 『はりはり恐竜はり絵』 / 参加者約 160 名
	8月	イオンモール和歌山 / 『むしむし運動会』 / 『なにいろ? とりバッチ』 / 『和歌山の海のいきもの・クジラ・モビール』他 / 参加者約 700 名
	8月	りんくうプレジャータウン シークル / 『セミ・はねもようストラップ』 / 参加者約 240 名

※参加者の人数に見学者も含まれている場合があります。

## はくラボスタッフ 出張ワークショップへの思い

学校や図書館との連携は、私たちにとって大きな学びの機会です。いつもは博物館で実施している類似プログラムも、ひとたび場が違えば、当然ですが参加者層も実施空間も異なります。展示物や学芸員（専門家の知恵）の不在、頼るものが限られる状態でのプログラム企画。だからこそ「博物館が無い状態で、自然のことを何が伝えられるか・何を伝えたいか」という真意が問われているような、そんな挑戦する気持ちで実施をさせてもらっています。と云いつつ、博物館でも・博物館外でも、どの場所でも出会う子どもたちも、みんなそれぞれとても素敵! 子どもたちに会いに行く、それが出張ワークショップの大きな楽しみのひとつです。

山中 亜希子

ショッピングモールや図書館は、多様な生きものと出会えませんが、たくさん子どもたちが集まる場所です。博物館に一度も来たことがない子どもたちにも、出張ワークショップが、すぐそばの自然を見つめるきっかけになってほしいと願っています。

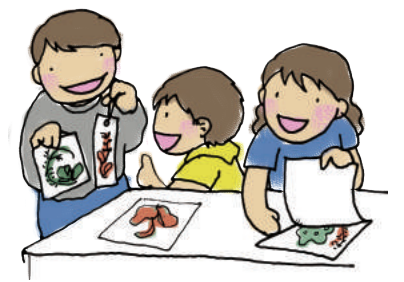
山下 和子

自然との唯一の接点は公園・虫も土も触れない・生きものに関心がない、子どもやご家族が増えているように思います。私たちの活動を通して「自然っておもしろい! →好き! →大切にしたい!」そんな気持ちが一歩でも多くの方に芽生えればと、いつもいつも考えています。

米澤 里美

## 出張ワークショップをお届けします

自然を楽しく学ぶ輪 一緒にひろげませんか?



お子さまの年齢や人数、開催予定日、ご予算等をご相談ください。季節や地域にあったプログラムをご提案させていただきます。まずは、大阪自然史センター（はくラボ）まで、お気軽にお問合せください。

TEL 06-6697-6262  
Email center@mus-nh.city.osaka.jp

## 大阪自然史センターの活動を応援してください

自然を見つめ、自然から学び、自然を楽しく伝え、自然を大切に思う気持ちを育む 私たち大阪自然史センターの活動を応援してください

郵便振替で寄付する  
口座番号 00980-1-317961  
加入者名 特定非営利活動法人 大阪自然史センター

クレジットカードでのご寄付はこちら  
syncable.biz/associate/hakurabo/

ご寄付に関する詳細は下記のWEBサイトをご覧ください。  
www.omnh.net/npa/support/donation.html

大阪自然史センターは、2014年3月31日に大阪市から認定NPO法人の認定を受けました。認定NPO法人である大阪自然史センターへのご寄付は、税制優遇の対象となります。

企業や団体の方へ  
大阪自然史センターはさまざまな企業や団体と連携して活動を進めています。コラボレート企画やデザインのご依頼、ご寄付・CSR活動など、お気軽にお問合せください。

## 編集後記

小さなころの自然体験を思い出すことがあります。私たちの活動に参加してくれた人が、いつの日かふと思い出して、自然の中へかけてくれたらな。この活動を続けていかなきゃな。などと、思いながら編集しました。(米澤)

はくラボ  
認定特定非営利活動法人 大阪自然史センター  
〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23 大阪市立自然史博物館内  
電話 06-6697-6262 FAX 06-6697-6306 Email center@mus-nh.city.osaka.jp  
www.omnh.net/npa

# はくラボ 通信 Vol.4

～何やってるの? 活動しようかい～



## 特集 自然史博物館をとびだして 出張「子どもワークショップ」

小さな子どもでも自然の魅力を自分の「気づき」によって、発見してもらいたい。そんな思いで、はくラボと大阪市立自然史博物館が生み出す『子どもワークショップ』。学芸員さんの研究データや標本、熱い思いを詰め込んだプログラムは、博物館をとびだして、地域へ広がりをみせています。動物園や学校、図書館やショッピングモール、さまざまなところとコラボした『出張ワークショップ』をご紹介します。

はくラボとコラボ = 「はくラボ」

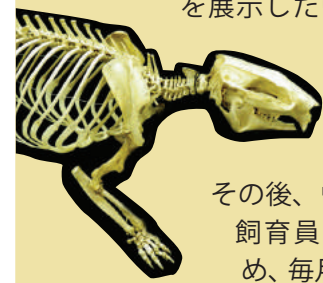
「はくラボ」は、博物館とのさまざまなコラボレーションで自然と市民をつなぐNPO法人でありたい 私たち大阪自然史センターの愛称です

www.facebook.com/naturalhistory.center @haku\_lab0  
このパンフレットは環境に配慮したベジタブルオイルインクを使用しています。

## 動物園・水族館とコラボ

### 池田市立 五月山動物園

8年目を迎える、はくラボと五月山動物園との連携は、寂しい『ウォンバット サツキの死』から始まりました。サツキの骨格標本を展示するという動物園の思いを受けて、



私たちは標本作りの様子来園者に見ていただき、寂しさを学びの場にかえることができればと動き出しました。

その後、ウォンバット足型レプリカ作りや飼育員とのバックヤードツアーをはじめ、毎月行っているワークショップには、

延べ約7,500名が参加。ワークショップを通して、動物の野生でのイキイキした姿や、生息地や個体数の減少などの問題も伝え、動物園が果たすべき環境教育の役割を共に担えるように頑張っています。



## 企業とコラボ

### 三洋化成工業(株) 森づくり活動

京都府和束町湯船森林公園「三洋化成の森」で、第17回三洋化成の森づくり活動『目指せ！鹿の達人！』が開催されました。社員の方やお客さん、ご家族、京都モデルフォレスト運動に参画する団体やボーイ・ガールスカウトなど、合わせて約60名の参加がありました。私たちははくラボは講師としてお招きいただき、鹿や森の生きもの、獣害対策などをお話。その後、森を歩いて動物の痕跡を探し、お昼ごはんは鹿ミートパスタをいただき、鹿の角でストラップを作るという鹿フルコース！みなさん楽しく学び、鹿の達人になれたかな？



三洋化成CSR推進部のみなさま、京都森林インストラクター会や京都府、和束町のみなさま、お世話になり、ありがとうございました。

トロナワイルドライフパークのアンドルー園長へ

### interview インタビュー

せじま・こうぞう 瀬島 幸三さん 池田市立五月山動物園 園長

瀬島園長へ

マル↑

「私たちの活動に一言！」

五月山動物園では、はくラボさんに協力いただき、ウォンバットなど、年間4つのテーマでワークショップを開催しています。ウォンバットの回には子どもだけでなく、全国から大人の方もたくさん参加いただいています。

動物園と博物館が共同で行うワークショップはお互いに大きな意味を持ちます。子どもたちが動物園や博物館を好きになってくれるよう、これからも長く続けたいと思います。

ワークショップに参加してくれた じゅんちゃん

今日のお話はどうでしたか？

ウォンバットが5匹も動物園でくらしているお話が楽しかった。

どのお話がお気に入りですか？

ウォンバットの体重を(飼育員さんが)はかっているお話。どうして、はかっているのかなあと、気になった。

【スタッフより】家族4人で来園。じゅんちゃんは楽しそうにクイズに答えてくれました。ステンシルのエコバッグも親御さんのサポートをうけて、自分で完成。インタビューに協力してくれてありがとう！

## 公共施設とコラボ

### 香川県 三木町文化交流プラザ・さぬき市志度図書館

はくラボスタッフ・なにわホネホネ団のニシザワマキコ団長はホネからわかる動物たちの魅力をワークショップで伝えています。

何と言っても、小さなネズミから大きなクジラまで解体、標本を作ってきたマキコ団長ならではの真実と、本物の標本にタッチできるのが人気！

香川に呼んでいただいたときは、アジアゾウの大腿骨をもって登場。子どもたちが身長とゾウのホネをくらべっこするシーンも。いろんな動物のホネを観察してホネストラップやホネ缶バッジを作りました。



ニシザワマキコ 団長

## 学校とコラボ

### 大阪市立野里小学校 「生涯学習地域連携事業」



出張ワークショップの中でも一番元気が集まる野里小学校。『アンモナイト消しゴム』『砂・つぶ・すな絵』『セミはねもようストラップ』など、色んなワークショップを実施しました。中には博物館に遊びに行かない子どもたちもいます。

私たちは少しでも多くの人のもとに出かけ、自然の魅力を伝え、芽生えた知りたい気持ちを博物館につなげていけたらと思っています。



### letter お手紙

なにわホネホネ団のまきこだんちょうがかがわにきてくれました。10日は、ホネのクイズをしました。そのあと、アナグマとマッコウクジラのかんバッジを作りました。ホネのクイズがむずかしかたけど、楽しかったです。20日は、色んなどうぶつホネを見ました。その中で、1ばんゾウのホネが大きすぎて、かたです。つぎに、アナグマのプラはんをつくりました。かんバッジや、プラはんがきいたので、リュックサックにつけました。とても楽しかったので、またきてください。



ワークショップに参加してくれた 日菜子ちゃん(小学校2年生)

日菜子ちゃんとお母さんの真理さん(香川県在住)二人とも動物もホネも大好き！

### interview インタビュー

はまぐち・はるま 濱口 春代さん 大阪市生涯学習推進員

「私たちの活動に一言！」

5年間、長居の博物館から西淀川区の野里小学校へ約1時間、時には砂など重い荷物を背負って「生涯学習地域連携事業」としてワークショップに来校して頂きました。「学び」と「体験」の両方兼ね備えたワークショップは小学生には大変貴重な体験です。子どもたちを校外に連れ出すことが、大変困難な時代ですので来校していただき感謝しております。

「参加してくれた子どもたちの様子はどうでしたか？」

普段はやんちゃな子どもたちがはくラボの先生方の話に引き込まれ、作業も集中して挑戦していました。「お母さんに見せるねん」と嬉しそうに話します。お迎えに来られると「今日、これ、作ってん」と話します。親子のコミュニケーションにも一役かっているようです。夏休みの作品として、提出してくれた児童もいました。

「今後に期待することは？」

今後も「学び」と「体験」を兼ね備えた貴重なワークショップを継続して頂き、「学び」の楽しさの普及と、自然を大切にしてくれる子どもたちの育成にご尽力ください。野里小学校にもまた是非ご来校ください。

## 学会とコラボ

### 日本生態学会 子ども生態学講座

日本生態学会では、小さなお子様がおられる学会員の方でも、安心して学会に参加できるように託児室を開設されています。

そこから発展させて、子どもたちの学びの場を作りたいという思いから、『博物館バックヤードツアー』と、子どもワークショップ『大阪湾のいきもの・クジラモビール』を実施しました。

次回、名古屋大会でも会場である名城大学内で、子どもたちをお預かりしてワークショップを開催予定。



## ショッピングモールとコラボ

### イオンモール和歌山

夏休みでにぎわうイオンモール和歌山のショッピングフロアで、ワークショップ『むしむし運動会』『はりはり恐竜はり絵』『なにいろ？とりバッジ』『和歌山の海のいきもの・クジラ・モビール』を実施しました。2日間で子ども延べ700名、親御さんを合わせると1,000名以上の方に越しいただき、とても盛り上がりしました。中には4つのプログラムをすべて体験してくれた子や、2日間連続で遊びに来てくれた親子連れもいました。「帰り道に鳥や虫を探してみるね！」「海で泳いでいるクジラを見てみたいな。」などなど、この先につながる自然への探究心を持って帰ってもらえることができました。



## 病院とコラボ

### 小児科病棟

小児科病棟に入院されている子どもたちにワークショップ『はりはり恐竜はり絵』をお届けする機会をいただきました。アロサウルスの歯のレプリカやステゴサウルスの実物大の背板パネルなどにさわってもらった



なかなかお外に遊びに行くことができない子どもたちにも楽しみながら、自分の興味や好きなことを見つけてもらえたらという思いで実施しました。



り、恐竜が化石になって発見されるまでの紙芝居を見ながら、どんな模様の恐竜がいたのかみんな想像しました。その後、思い思いの恐竜をはり絵で表現。